

今回は 地域研究部による全国高等学校郷土研究発表大会 の報告です。

◇ 富加町・美濃加茂市・坂祝町と連携した研究で優秀賞を受賞しました！

主催： 都道府県高文連郷土研究部会 後援： 全国高文連
趣旨： 高校生による郷土研究や社会科学的な実践報告を発表する全国大会として開催
審査： 2021年8月、発表データの審査を実施（感染症対策のため大会は中止）
受賞対象： 公共・政策部門
歴史ツアー「夕雲の城」構想の実現に向けて
～高等学校と地域の連携による歴史遺産活用の実践報告～
発表者： 河路康太 小原和也 渡邊貫太（2年） 石原伶緒（3年）

◇ 受賞作品の概要と今後の展望

■今年度の高文連郷土研究部門の全国大会は鳥取県で開催される予定でしたが、感染症への対応を考慮し、残念ながら現地での開催は中止となりました。代わって、発表の様子を撮影した動画もしくは音声を重ねたスライドを作成したデータの審査を行いました。

本校は、パワーポイントで作成したスライドに音声を重ねたデータ提出し、結果、公共・政策部門において優秀賞を受賞しました（写真：録音の様子）。今回は、最優秀賞は該当なしということですので、優秀賞が最上位の受賞となりました。



■今回は、2019年以来、地域と連携しながら継続している「織田信長の東美濃攻略戦」をテーマに発表を行いました。地域の貴重な歴史遺産をどのように活用すべきか。私たち地域研究部は、今年の5月、日本考古学協会高校生ポスターセッションにおいて、同様のテーマで優秀賞を受賞していますが、その後、ラフティングボートによる川下りやドローン撮影を実践し、さらに研究内容を深めています。また関係市町の市長さん、町長さんに、研究成果を報告し、ツアーに関する様々なご助言をいただいています。今回の発表にはそうした新たな成果を盛り込みました。

今回の受賞について、関係市町の市長さん、町長さんにも報告したところ、「ツアーは必ず実現しよう」と、激励の言葉をいただいています。今、私たちは、「夕雲の城」ツアーの内容をより現実的なものにするための提案を考えているところです。ズームを使ったバーチャル山城ツアー、「夕雲の城」「猿啄城の春」に続く第3弾の漫画作品の企画など、一歩ずつ進めています。



私たちがツアーの宿泊地に想定している関市小瀬での鵜飼研究も、別のグループが同時に研究を展開しています。中間報告は、今年の12月12日、関市の観光交流施設「せきてらす」でのイベント「探ろう！岐阜の歴史」において実施する予定です。